

鳥

取のおぼけに松江のゆうれい、というのを時折耳にするのだが、調子がよくて好きだ。よく言えば、どちらも落ち着いた情緒ある町だが、お世辞にも活気あふれるとは言えないので、くすんだところを突き抜けて冥界に達すると、活気が見られるというのがおもしろい。

秋からの朝ドラ「ばけげ」で関心が高まっているのか、こども落語で怪談をやってほしいというお話をたくさんいただいた。

松江で学びながら、小泉八雲の怪談を知らないというのは、歌枕に暮らしながらその歌を知らないようなものだから、子どもたちにはレパートリーに加えるように塾の開設当初から働きかけていた。自分の方から求めてくる子どもも少なくない。これも一つの「ばけげ」効果だろう。

子どもたちの怪談を聞いた、某企画会社のNさんが堀川遊覧船に子どもたちを乗せて怪談を語ってもらおうと思いついた。春先ぐらいだったと思うが、その話を聞いたとき、これは子どもたちが喜ぶだろうと思つた。いや、お為ごかしはやめよう。ぼく自身がおもしろいと思つた。保護者経由で子どもたちに伝えたところ反応は上々で、ぜひやってみたくいだけれどもが言う。ただ、何事もそんなものだろうが、机上のプランがそ

のまま実行できるはずはなく、紆余曲折を経て固まったのが今月頭。チラシもつい今し方、できたと知らせを受けた。第一回目の運航日が今月三十日なので、この場を借りて宣伝させていただく。

堀川ゆうれい船

運航日①七月三十日(水)②八月八日(金)③八月十七日(日)④八月二十日(水)

運行時刻 午後四時(午後三時三十分までに松江堀川ふれあい広場に集合)所要時間約一時間。

料金 大人二千五百円、中高校生千八百円、小学生千三百円、未就学児二人目から五百円。

申込先 〇八五二一三一九〇一一担当は中村さん。チラシに申し込みフォームのQRコードが載っているのがご希望の向きにはデータを送ります。

船にはこどもが二人乗船し、怪談だけでなく、松江城の伝説や堀川と縁ある落語もする。現在、コース中で二人がどう斬をつないでいくか計画を立て、準備を進めている。だが、実際に乗ってしゃべってみないとわからないところがあるに多い。おそらく思い通りにいかず、どうにかしないとイケない場面に遭遇することだろう。でも、きつとそれが何かのきつかけだ。

2025.7.14

1499号(夕焼け通信 創刊1993.4.23)

〒690-0871 島根県松江市東奥谷町386-7 gosuitei.sakura.ne.jp/yuyake/ 編集 宮森健次

木幡智恵美

42

さ

て、二〇〇一年はどんな年だったのだろう。国内での十大ニュースを挙げてみる。

一、小泉政権発足、構造改革がスタート 二、雅子様が女児ご出産 三、大阪池田小に刃物男、児童八人殺害 四、デフレ進行、失業率五%台、大型倒産相次ぐ 五、テロ特措法成立、自衛艦がインド洋へ 六、国内初のBSC感染牛確認 七、外務省不祥事が続発、元室長ら逮捕 八、ハンセン病訴訟で原告勝訴、国は控訴断念 九、新宿の雑居ビル火災で四十四人死亡 十、ノーベル化学賞に野依名大教授

この年は、全世界を揺るがした事件が起きたので、海外の十大ニュースも挙げておく。
一、米で同時多発テロ 二、米英軍がアフガン攻撃 三、実習船えひめ丸、米原潜と衝突し沈没 四、WTOが中国加盟承認 五、米マリナーズのイチロー、MVPと新人王受賞 六、米で炭疽菌感染広がる 七、パレスチナとイスラエル、テロの報復続く 八、米リセッション入り 九、二〇〇八年夏季五輪、北京に決定 十、COP7で最終合意

まず、国内で、これまで想像だにしないことが起きた。大阪教育大学付属池田小学校で起きた児童殺傷事件だ。海外では銃乱射事件などを耳にすることはあったが、治安の良い日本で、しかも安全な場所だと皆が信じていた学校で起こったのがショックだった。全く抵抗できない小学校低学年を相手に刃物を振り回し、未来ある子どもたちの貴い命を奪うなんてと犯人の非情さに身震いがした。事件以後、学校は外部の人が自由に入出できないようあれこれ策を講じ、これまでしてこなかった防犯の訓練をするようになった。犯人役が刃物を手に教室に押し入ると、担任は机を楯に、子どもたちを下がらせる。近くにいた教員が駆け付け、ある者は警察に通報し、ある者はサスマタを手を押しさえつけないという流れだ。今も訓練しているのだろうか。「のど元過ぎれば」でなければいいのだが。

そして、アメリカで起きた同時多発テロ。九月十七日発行の夕焼け通信三九五号に私はこんなことを書いている。「今月に入つて十日ちよつとの間に、魂を揺るがす出来事がたて続けに起こっている。新宿でのビル火災。高速道路でひき逃げされた中学生放置事件では中学校教師の逮捕。そして、十一日アメリカで起きた前代未聞の同時多発テロ。(次号に続く)」



30代フリーター 若い世代は「タイパ」を気にする。「タイパ」は「コストパフォーマンス」(費用対効果)から派生した「タイムパフォーマンス」(時間対効果)の略で、それを向上させ、最短時間で最大の効果を上げようとする。長編の記事や動画よりも、要点をまとめたコンテンツを好む。レビューやランキングを参考に購入対象の選択を素早く行う。オンラインショッピングやフードデリバリーサービスを利用し、移動時間、待ち時間を削る。即日配送を利用する。会議や長時間の会話を避け、チャットやメールで済ませる。

年金生活者 GAFAMなど巨大IT企業が日々新たに提供する膨大な情報やサービスを絶えず取捨選択すること迫られるせわしない生活がそうさせている。仕事で忙しいわけではない。労働時間はむしろ減少傾向にある。政府の労働力調査によると、2024年の若年層(20〜24歳)の労働時間は2000年に比べると1週間当たり9時

間ほど短くなっている。忙しさの大部分は仕事ではなく、消費行動によって占められている。

30代 だとすれば、若い世代は、働く時間が減ったにもかかわらず、収入が増え、消費に忙しくなったという奇妙なことになる。

年金 当然ながらそんなことはあり得ない。政府の調査では、若年世帯の平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は2015年以降、徐々に低下する傾向にある。そして、食費や家賃、通信費など必需的消費の比率が上がり、交際費など選択的消費が減少している。

それなのに、選択に困るほどのさまざまな消費を若い世代がしているのはなぜか。GAFAMなどのプラットフォームが数えきれないほどのサービスを無料で提供しているからだ。ただし、「無料」というのはカネのやり取りがないというだけで、ユーザーはプラットフォームを利用するごとに自らの個人情報を提供している。GAFAM

Mはその膨大なデータをもとに、それぞれの好みに合いそうな広告をひとりひとり狙い撃ちするように流すことができる。それを武器に自社の製品やサービスを売り込むとともに、他企業の広告にもそのシステムを提供し、巨額の利益を得ている。

GAFAMは国家に匹敵するほどの規模の再分配システムを貨幣以外の交換手段を使って築いた。それが若い世代に忙しい日々を強いている。

30代 何年か前まで、大きなニュースになる凶悪犯罪といえば、「死刑になりたかった」「だれでもよかった」といった若者の無差別殺傷事件が代表的なものだった。それが近年は、一見「効率」を重視したように見える強盗や特殊詐欺といった犯罪にかわってきた。「タイパ」を気にする若者の傾向が犯罪にも反映している。

年金 今世紀初めごろの若者の凶悪犯罪といえば、秋葉原通り魔事件(2008年)に代表される無差別殺傷事件など「自暴自棄型」の犯罪が目立つ

た。これに対し、近年は「ルフィ広域強盗事件」に代表される強盗事件や、各種の特殊詐欺など「効率重視型」の犯罪に変わる若者が相次ぐようになった。

「自暴自棄型」の犯罪の背景として、高速化する産業の循環の速度に個人の日常の速度が追いつかず、それが人びとをいら立たせるようになったことを吉本隆明があげている(『吉本隆明の声と言葉』)。この指摘は2008年のことで、そのあと、高速化は産業の循環だけにとどまらず、消費の循環にも及ぶようになった。

それを促したのがスマホの普及であり、それを基盤にしたGAFAMなど巨大IT企業による大規模な再分配システムの構築だ。

これは産業の循環の速度に消費の循環の速度、したがって日常生活の速度が追いついてきたことを意味する。その結果、速度の違いがもたらすいらいは緩和され、犯罪も「自暴自棄型」が影をひそめるようになった。代わって「タイパ」一辺倒のような「効率重

視型」の犯罪が目立つようになった。

だが、若者らの「タイパ」重視はプラットフォームという再分配システムの内部でしか通用しない。「タイパ」重視が極端化した強盗や特殊詐欺の効率性は限られた効率性でしかない。したがって、国家という別の再分配システムはそれを「犯罪」と認定し、刑務

所での「超非効率」な生活を当人に強いる。

30代 GAFAMの再分配システムの相当部分がカネを介さないで利用されているとすれば、消費活動も相当部分が家計の外で行われているということになる。

年金 生活の中で家計というもののウエートが下がっているということだ。家計は家族の経済的な基盤をなす。別の言い方をすれば、家族は経済的な必要によって成り立っている一面がある。おそらく近代以前はそれよりも宗教的な必要によって成り立っていた。資本主義が信仰の対象を伝統的な神から貨幣にかえることによつてそれを突き崩した。

家族が家計に支えられたシステムだとすれば、生活に占める家計のウエートが低下するにつれ、家族を持つとする動機は、収入の多寡にかかわらず、薄れるのは必然と言える。生涯未婚率の上昇を加速する要因のひとつをそこに見ることができ

ニュース日記 976
中村 礼治

若者はなぜ「タイパ」を気にするのか